

労働災害発生状況(同期比較)

木更津労働基準監督署

区 分		平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和元年 (6月末)	令和2年 (6月末)	対同期 増 減	死傷災害 増減率 (%)
業 種 別								
製 造 業	食 料 品 製 造 業	22	24	10	4	9 (1)	5 (1)	125.0%
	繊維・繊維製品製造業	0	1	1	0	1	1	-
	木材・木製品製造業	9	9	5	0	5	5	-
	紙等製造・印刷製本業	0	0	0	0	0	0	-
	化 学 工 業	5	11	9 (1)	1	10	9	900.0%
	窯業・土石製品製造業	10	7 (2)	6	4	2	-2	-50.0%
	鉄鋼・非鉄金属製品製造業	4	11	7	4	5 (1)	1 (1)	25.0%
	金属製品製造業	18	13	19	9	8	-1	-11.1%
	一般機械器具製造業	4	7	6	3	3	0	0.0%
	電気機械器具製造業	0	0	1	0	0	0	-
	輸送用機械器具製造業	3	1	1	0	0	0	-
	電気・ガス・水道業	1	0	0	0	0	0	-
	そ の 他 の 製 造 業	12	9 (1)	11	4	3	-1	-25.0%
	小 計	88	96 (3)	76 (1)	29	46 (2)	17 (2)	58.6%
鉱 業		4 (1)	2	3 (1)	0	2	2	-
建 設 業	土 木 工 事 業	11	16	23	11	10 (2)	-1 (2)	-9.1%
	建 築 工 事 業	19	25	41 (2)	15	23	8	53.3%
	[木造建築工事業]	4	5	9	2	10	8	400.0%
	そ の 他 の 建 設 業	31 (1)	16	24 (2)	8 (2)	5 (1)	-3 (-1)	-37.5%
	小 計	61 (1)	57	88 (4)	34 (2)	38 (3)	4 (1)	11.8%
運 輸 交 通 業	鉄 道 ・ 水 運 業	1	0	2	0	1	1	-
	道 路 旅 客 運 送 業	7	6	14 (1)	4	4	0	0.0%
	道 路 貨 物 運 送 業	24	20	40	16	11	-5	-31.3%
	小 計	32	26	56 (1)	20	16	-4	-20.0%
貨 物 取 扱 業	陸 上 貨 物 取 扱 業	3 (1)	3	2	0	0	0	-
	港 湾 荷 役 業	4	1	1	0	0	0	-
	小 計	7 (1)	4	3	0	0	0	-
農 林 業		9	13	12	1	9	8	800.0%
畜 産 業 ・ 水 産 業		12	11	14	7	3	-4	-57.1%
そ の 他 の 事 業	商 業	74	90	76	26	32	6	23.1%
	[各種商品小売業]	5	5	7	1	3	2	200.0%
	[新聞販売業]	9	14	8	2	2	0	0.0%
	通 信 業	13	24	9	4	9	5	125.0%
	医 療 保 健 業	18	16	12	3	6	3	100.0%
	社 会 福 祉 施 設	35	36	39	16	22	6	37.5%
	接 客 娛 楽 業	44	55	62	17	16 (1)	-1	-5.9%
	[旅館業]	15	14	16	5	2	-3	-60.0%
	[飲食店]	17	18	24	6	7	1	16.7%
	[ゴルフ場]	8	15	11	3	5 (1)	2	66.7%
	清 掃 ・ と 畜 業	13	22	19	4	12 (1)	8	200.0%
	[ビルメンテナンス業]	4	9	3	0	4	4	-
	警 備 業	0	4	3	1	2	1	100.0%
	上 記 以 外 の 事 業	20 (1)	19	16	4	9	5	125.0%
小 計	217 (1)	266	236	75	108 (2)	33 (2)	44.0%	
合 計		430 (4)	475 (3)	488 (7)	166 (2)	222 (7)	56 (5)	33.7%

注) 1 労働者死傷病報告(休業4日以上)の統計である。

令和2年6月末現在

2 []内の業種は内数である。

3 ()内は死亡件数であり内数である。

4 令和2年統計は令和3年4月7日に確定予定である。

5 木更津労働基準監督署管内は、木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市、館山市、鴨川市、南房総市、安房郡鋸南町である。